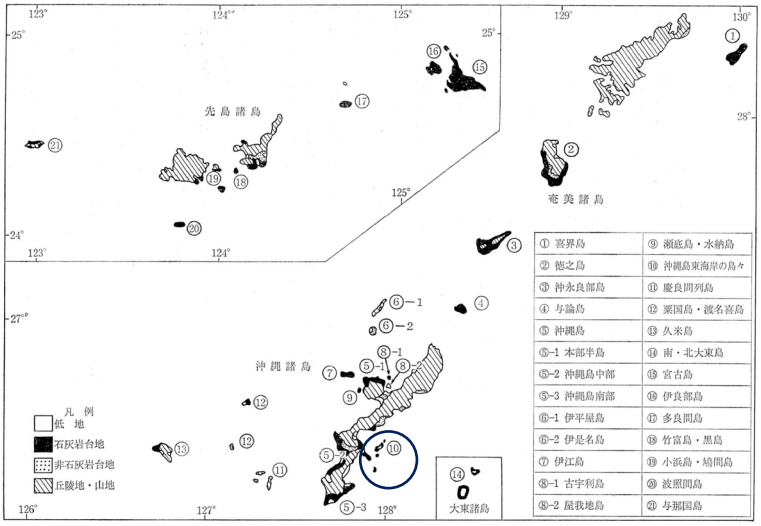
10.沖縄島東海岸の島々

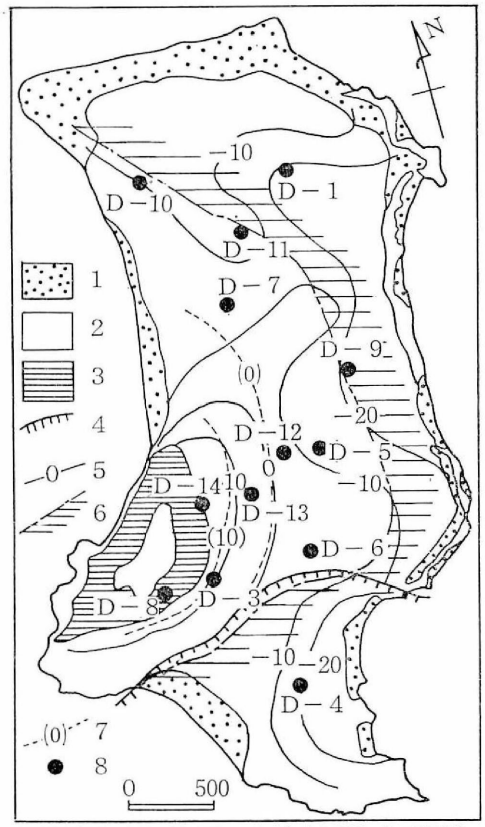


地形・地質

沖縄島東海岸に位置する島々のうち，水文地質の明らかなのが浜比嘉島，津堅島，久高島です。浜比嘉島は比較的開析の進んだ台地と沖積低地からなります。津堅島は北方へ緩く傾く台地状の地形からなり，島の南寄りに東西に走る断層崖があります。久高島は平坦な島でほとんど起伏がみられません。

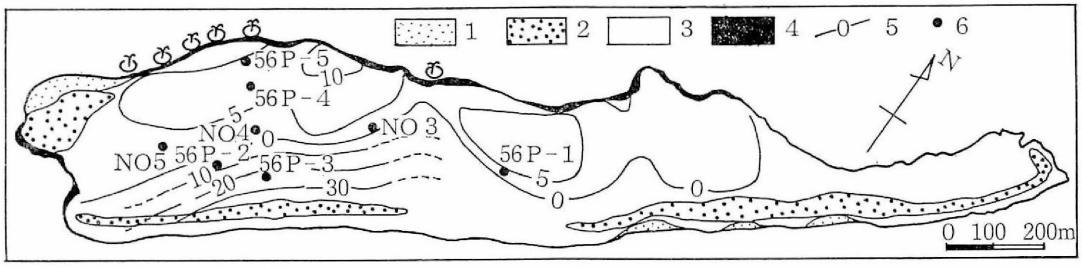
地下水

浜比嘉島の地下水は，鐘乳洞からの湧水や深さ 2～3m の浅井戸が沖積層中の地下水を利用しています。津堅島の試掘井によると島尻層群の砂岩にやや期待がもたれますが，揚水水位は海水面下にあります。久高島小規模な湧水がありますが，地下水はきわめて少なく，地下水位の高さはほぼ基盤岩上面の高さと一致します。



1.沖積層（砂、粘土） 2.琉球層群（石灰岩）
3.島尻層群(泥岩、砂岩) 4.断層 5.基盤上面等高線 6.塩水浸入範囲 7.地下水位等高線
8.調査ボーリング及び試掘井

津堅島の水文地質図



1.沖積層（海浜砂）、 2.沖積砂丘砂 3.琉球層群（石灰岩） 4.鮮新世島尻層群（泥岩）
5.基盤岩上面等高線 6.地質調査ボーリング位置

久高島の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）